

1. 平成29年度事業活動収支計算書 (決算規模752億円)

1. 事業活動収支においては、9億1,400万円の収入超過となりました。
2. 基本金組入額を31億2,000万円計上しました。

(単位:千円)

No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金	26,677,737	26,676,932	805
2	手数料	1,421,036	1,472,404	△ 51,368
3	寄付金	834,614	985,004	△ 150,390
4	経常費等補助金	5,063,208	5,087,823	△ 24,615
5	付随事業収入	1,115,386	1,044,210	71,176
6	医療収入	36,992,924	36,560,821	432,103
7	雑収入	1,567,748	1,644,255	△ 76,507
8	教育活動収入計	73,672,653	73,471,449	201,204
9	人件費	40,155,607	39,110,460	1,045,147
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(2,380,948)	(2,216,125)	(164,823)
11	教育研究経費	31,494,758	31,748,339	△ 253,581
12	(うち減価償却額)	(6,183,428)	(6,225,803)	(△ 42,375)
13	管理経費	3,190,611	3,046,707	143,904
14	(うち減価償却額)	(402,509)	(403,602)	(△ 1,093)
15	徴収不能額等	0	6,504	△ 6,504
16	教育活動支出計	74,840,976	73,912,010	928,966
17	教育活動収支差額(8-16)	△ 1,168,323	△ 440,561	△ 727,762
18	受取利息・配当金	681,321	840,332	△ 159,011
19	その他の教育活動外収入	30,000	36,000	△ 6,000
20	教育活動外収入計	711,321	876,332	△ 165,011
21	借入金等利息	152,826	151,992	834
22	その他の教育活動外支出	0	0	0
23	教育活動外支出計	152,826	151,992	834
24	教育活動外収支差額(20-23)	558,495	724,340	△ 165,845
25	経常収支差額(17+24)	△ 609,828	283,779	△ 893,607
26	資産売却差額	0	198,233	△ 198,233
27	その他の特別収入	744,211	610,902	133,309
28	特別収入計	744,211	809,135	△ 64,924
29	資産処分差額	0	172,970	△ 172,970
30	その他の特別支出	1,845	5,900	△ 4,055
31	特別支出計	1,845	178,870	△ 177,025
32	特別収支差額(28-31)	742,366	630,265	112,101
33	[予備費]	(331,436)		15,936
34	基本金組入前当年度収支差額(25+32-33)	116,602	914,044	△ 797,442
35	基本金組入額合計	△ 5,066,174	△ 3,119,908	△ 1,946,266
36	当年度収支差額(34+35)	△ 4,949,572	△ 2,205,864	△ 2,743,708
37	前年度繰越収支差額	△ 19,530,459	△ 17,356,090	△ 2,174,369
38	基本金取崩額	0	9,504	△ 9,504
39	翌年度繰越収支差額(36+37+38)	△ 24,480,031	△ 19,552,450	△ 4,927,581
40	事業活動収入計(8+20+28)	75,128,185	75,156,916	△ 28,731
41	事業活動支出計(16+23+31+33)	75,011,583	74,242,872	768,711

(注) [予備費]は未使用額を表し、()内の金額は使用額を示す。

経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支を見ることができ、29年度は4億4,100万円の支出超過となりました。予算に対して人件費が10億4,500万円減少しました。

経常的な収支バランスを見ることができ、29年度は2億8,400万円の収入超過となりました。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、29年度は6億3,000万円の収入超過となりました。

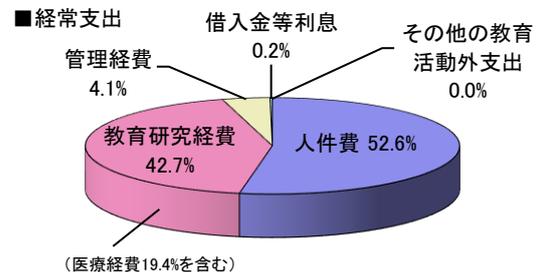
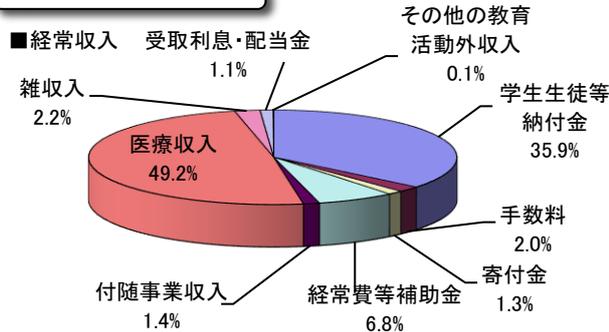
良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額であり、予算に対して施設・設備関係支出が減少したことにより減少しました。

経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることができ、29年度は7億2,400万円の収入超過となりました。予算に対して受取利息・配当金が1億5,900万円増加しました。

毎年度の収支バランスを見ることができ、従来の帰属収支差額です。29年度は9億1,400万円の収入超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除したものです。29年度は22億600万円の支出超過となりました。

経常収入に対する比率



※ 各科目の構成比率は経常収入を100%として表示しています。

【事業活動収支決算の概要 (予算との比較)】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

※学校法人会計基準の改正に伴い、平成27年度から消費収支計算書から事業活動収支計算書に変更となっています。

《収入の部》

No. 6 医療収入 ↓ 福岡大学病院における入院診療単価の減少。

《支出の部》

No. 9 人件費 ↓ 教職員数の差異等による減少。
No. 11 教育研究経費 ↑ 施設関係の修繕費等による増加。

- ・従来の帰属収支差額に相当するNo. 34基本金組入前当年度収支差額 (No. 40事業活動収入-No. 41事業活動支出) は、9億1,400万円の収入超過となり、従来の帰属収支差額比率に相当する事業活動収支差額比率 (No. 34基本金組入前当年度収支差額÷No. 40事業活動収入) は、1.2%となっています。
- ・人件費比率 (No. 9人件費÷経常収入 [No. 8教育活動収入+No. 20教育活動外収入]) は52.6%となり、前年度より1.3ポイント低くなっています。

2. 平成29年度資金収支計算書 (決算規模1,286億円)

(単位:千円)

《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院、筑紫病院、博多駅クリニックの医療収入です。

・長期、短期の貸付金の回収額
・税金等の預り金受入額
・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した場合の収入額

収入の部				
No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金収入	26,677,737	26,676,932	805
2	手数料収入	1,421,036	1,472,404	△ 51,368
3	寄付金収入	928,583	1,057,294	△ 128,711
4	補助金収入	5,713,451	5,509,713	203,738
5	資産売却収入	0	15,417,025	△ 15,417,025
6	付随事業・収益事業収入	1,145,386	1,080,210	65,176
7	医療収入	36,992,924	36,560,821	432,103
8	受取利息・配当金収入	681,321	840,332	△ 159,011
9	雑収入	1,567,748	1,657,785	△ 90,037
10	前受金収入	5,234,564	5,346,416	△ 111,852
11	その他の収入	28,737,454	28,406,534	330,920
12	資金収入調整勘定	△ 13,134,386	△ 13,421,748	287,362
13	前年度繰越支払資金	17,680,791	17,947,536	△ 266,745
14	収入の部合計	113,646,609	128,551,254	△ 14,904,645

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

(単位:千円)

支出の部

No.	科目	予算	決算	差異
15	人件費支出	39,828,694	38,746,876	1,081,818
16	教育研究経費支出	25,311,329	25,515,464	△ 204,135
17	管理経費支出	2,789,948	2,645,370	144,578
18	借入金等利息支出	152,826	151,992	834
19	借入金等返済支出	568,150	568,150	0
20	施設関係支出	5,152,919	4,022,152	1,130,767
21	設備関係支出	1,665,842	1,510,194	155,648
22	資産運用支出	8,765,134	24,160,313	△ 15,395,179
23	その他の支出	19,490,680	20,659,026	△ 1,168,346
24	[予備費]	(331,436)	18,564	18,564
25	資金支出調整勘定	△ 6,086,650	△ 6,387,705	301,055
26	翌年度繰越支払資金	15,989,173	16,959,422	△ 970,249
27	支出の部合計	113,646,609	128,551,254	△ 14,904,645

教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

(注) [予備費]は未使用額を表し、()内の金額は使用額を示す。

【資金収支決算の概要 (予算との比較)】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》

No. 5 資産売却収入 ↑ 有価証券の満期償還。
No. 7 医療収入 ↓ 福岡大学病院における入院診療単価の減少。

《支出の部》

No. 15 人件費支出 ↓ 教職員数の差異等による減少。
No. 20 施設関係支出 ↓ 他勘定(修繕費等)への振替による減少。
No. 22 資産運用支出 ↑ 有価証券の購入。
No. 23 その他の支出 ↑ 税金等の預り金の増加。

【資金収支規模と翌年度繰越支払資金】

- ・資金収支決算の合計は1,286億円で、前年比22億5,400万円の財政規模拡大となっています。
- ・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は170億円で、前年比9億8,800万円の減少となっています。

(平成29年度に取得した主な施設・設備)

(施設関係) (土地・建物・構築物・建設仮勘定)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 筑紫野市俗明院一丁目392番1土地購入 4号館新築工事 ななくまのり保育園新築工事 第二記念会堂耐震改修工事 5号館別館耐震改修工事 | <ol style="list-style-type: none"> 若葉高等学校講堂兼体育館耐震改修工事 有朋会館耐震改修工事 若葉高等学校南館各階トイレ改修工事 8号館各階西側トイレ改修工事 大濠高等学校野球場センター側防球ネット増設工事 |
|--|--|

(設備関係) (機械器具・車両)

- 内視鏡機器三式
- 大型バス

3. 平成29年度活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

No.		科 目	金 額			
1	教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	26,676,932		
2			手数料収入	1,472,404		
3			特別寄付金収入	984,419		
4			経常費等補助金収入	5,087,823		
5			付随事業収入	1,044,210		
6			医療収入	36,560,821		
7			雑収入	1,637,917		
8				教育活動資金収入計	73,464,526	
9	支出		人件費支出	38,746,876		
10			教育研究経費支出	11,065,000		
11			医療経費支出	14,450,464		
12			管理経費支出	2,642,965		
13			教育活動資金支出計	66,905,305		
14			差 引 (8-13)	6,559,221		
15			調 整 勘 定 等	95,370		
16			教育活動資金収支差額(14+15)	6,654,591		
17	施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	72,875		
18			施設設備補助金収入	421,890		
19			施設設備売却収入	156		
20			第2号基本金引当特定資産取崩収入	2,371,062		
21			引当特定資産取崩収入	2,252,946		
22				施設整備等活動資金収入計	5,118,929	
23			支出		施設関係支出	4,022,152
24					設備関係支出	1,510,194
25	引当特定資産繰入支出	6,689,106				
26		施設整備等活動資金支出計			12,221,452	
27			差 引 (22-26)	△ 7,102,523		
28			調 整 勘 定 等	△ 933,904		
29			施設整備等活動資金収支差額(27+28)	△ 8,036,427		
30			小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)(16+29)	△ 1,381,836		
31	その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	15,416,869		
32			引当特定資産取崩収入	1,921,172		
33			その他の収入	14,206,047		
34				小 計	31,544,088	
35			受取利息・配当金収入	840,332		
36			収益事業収入	36,000		
37			過年度修正収入	19,868		
38				その他の活動資金収入計	32,440,288	
39			支出		借入金等返済支出	568,150
40					有価証券購入支出	15,218,791
41	引当特定資産繰入支出	2,252,316				
42	その他の支出	13,856,569				
43		小 計			31,895,826	
44	借入金等利息支出	151,992				
45	過年度修正支出	2,405				
46			その他の活動資金支出計	32,050,223		
47			差 引 (38-46)	390,065		
48			調 整 勘 定 等	3,657		
49			その他の活動資金収支差額(47+48)	393,722		
50			支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)(30+49)	△ 988,114		
51			前年度繰越支払資金	17,947,536		
52			翌年度繰越支払資金	16,959,422		

【教育活動による資金収支】
キャッシュベースでの本業である教育活動の収支状況を見るものです。

【施設整備等活動による資金収支】
当該年度に施設設備の購入がどれだけあり、財源がどうであったかを見るものです。

【その他の活動による資金収支】
借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見るものです。

○活動区分資金収支計算書について

活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の改正により、平成27年度決算より作成が義務付けられた計算書です。

平成29年度決算では、No.16 教育活動資金収支差額は66億5,500万円の収入超過、No.29 施設整備等活動資金収支差額は80億3,600万円の支出超過になり、合計は13億8,200万円の支出超過になりました。また、No.49 その他の活動資金収支差額は3億9,400万円の収入超過となり、平成29年度の支払資金の減少額は9億8,800万円になりました。

4. 貸借対照表

(決算規模2,386億円)

(単位:千円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	212,312,283	211,509,378	802,905
有 形 固 定 資 産	122,586,621	123,776,909	△ 1,190,288
土地	20,385,091	20,314,587	70,504
建物	69,877,826	68,863,092	1,014,734
構築物	4,387,100	4,447,756	△ 60,656
教育研究用機器備品	11,109,573	12,830,431	△ 1,720,858
管理用機器備品	178,276	188,579	△ 10,303
図書	16,574,899	16,370,882	204,017
車両	42,255	9,184	33,071
土地購入前渡金	60	0	60
建設仮勘定	31,541	752,398	△ 720,857
特 定 資 産	86,501,246	84,105,004	2,396,242
第2号基本金引当特定資産	9,453,651	11,824,713	△ 2,371,062
第3号基本金引当特定資産	2,353,879	2,353,879	0
第4号基本金引当特定資産	5,386,000	5,386,000	0
その他の特定資産	69,307,716	64,540,412	4,767,304
そ の 他 の 固 定 資 産	3,224,416	3,627,465	△ 403,049
電話加入権等	129,844	133,349	△ 3,505
収益事業元入金	865,629	847,570	18,059
貸付金	18,080	19,055	△ 975
貸与奨学金	2,089,013	2,493,890	△ 404,877
預託金	71,708	71,677	31
差入保証金	49,640	49,640	0
長期前払金	502	12,284	△ 11,782
流 動 資 産	26,326,191	26,804,879	△ 478,688
現金預金	16,959,422	17,947,536	△ 988,114
未収入金	8,494,877	8,027,568	467,309
材料	120,535	126,685	△ 6,150
貯蔵品	6,710	6,991	△ 281
立替金	7,484	13,296	△ 5,812
短期前払金	608,512	555,153	53,359
仮払金	128,651	127,650	1,001
資 産 の 部 合 計	238,638,474	238,314,257	324,217

校舎、寮、体育館等の建物および建物附属設備(空調等)の額のことです。

将来の特定の目的のために使用する資産のことです。

現金およびすぐに引き出すことのできる預貯金のことです。

教育研究のために使用される機械設備等の額のことです。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。

決算日(3月31日)における補助金等の未収額のことです。

返済期限が1年を超えて到来する借入金のことです。

返済期限が1年以内に到来する借入金のことです。

財産的な基盤となる額のことです。学校法人福岡大学が安定的かつ永続的に存続していくために必要な額です。

29年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額の額のことです。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金等の額のことです。

負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	25,858,448	26,196,738	△ 338,290
長期借入金	6,554,250	7,122,400	△ 568,150
長期未払金	448,501	582,224	△ 133,723
退職給与引当金	18,855,697	18,492,114	363,583
流 動 負 債	13,122,678	13,374,215	△ 251,537
短期借入金	568,150	568,150	0
短期未払金	5,966,276	6,205,826	△ 239,550
前受金	5,346,417	5,290,814	55,603
預り金	1,238,756	1,303,973	△ 65,217
仮受金	3,079	5,452	△ 2,373
負 債 の 部 合 計	38,981,126	39,570,953	△ 589,827
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	219,209,798	216,099,394	3,110,404
第1号基本金	202,016,268	196,534,802	5,481,466
第2号基本金	9,453,651	11,824,713	△ 2,371,062
第3号基本金	2,353,879	2,353,879	0
第4号基本金	5,386,000	5,386,000	0
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第1号(施設・設備取得) 自己資金で購入した施設設備費の累計額。 第2号(計画組入) 将来の施設設備取得のための積立金。 第3号(各種基金) 奨学金基金等として保持している金額。 第4号(運転資金) 恒常的に保持すべき資金の額(1カ月分の運転資金)。 </div>			
繰越収支差額	△ 19,552,450	△ 17,356,090	△ 2,196,360
翌年度繰越収支差額	△ 19,552,450	△ 17,356,090	△ 2,196,360
純 資 産 の 部 合 計	199,657,348	198,743,304	914,044
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	238,638,474	238,314,257	324,217

事業活動収支計算書の当年度収支差額の累計額を表します。長期的な収支の均衡を判断する指標となります。

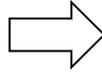
学校法人福岡大学の財政状態を分かりやすく見るために、それぞれを構成比で表しました。

※平成30年3月31日現在の財政状態

(貸借対照表の構造)

資産の部		負債の部
固定資産	有形固定資産	固定負債
	特定資産	流動負債
	その他の固定資産	純資産の部
流動資産		基本金
		繰越収支差額

※資産＝負債＋純資産



資産の部	負債の部
有形固定資産 51.4	借入金等 6.2
	退職給与引当金 7.9
特定資産 36.2	前受金 2.2
	純資産の部
その他の固定資産 1.4	第1号 84.7
	第2号 4.0
流動資産 11.0	第3号 1.0
	第4号 2.2
	繰越収支差額 Δ8.2

負債 16.3

基本金 91.9
学校法人福岡大学が存続していくために必要な額です。

第3号 1.0

繰越収支差額 Δ8.2

【貸借対照表の概要（前年度末との比較）】 (注：↑…増加を示す ↓…減少を示す)

(資産の部) 資産総額は3億2,400万円の増加。

- 特定資産 ↑
その他の特定資産の増加。

(負債の部) 負債総額は5億9,000万円の減少。

- 長期借入金 ↓
借入金の返済による減少。

(純資産の部) 純資産総額は9億1,400万円の増加。資産総額に占める純資産（自己資金）の割合は83.7%で0.3ポイント増加。

- 第1号基本金 ↑
4号館、総合体育館新築工事等に係る組入れによる。
- 第2号基本金 ↓
第1号基本金への振替による。
- 繰越収支差額
翌年度繰越収支差額をマイナス195億5,200万円計上。

【学校法人会計基準改正の概要】

- ・平成27年度から学校法人会計基準が改正されています。
- ①資金収支計算書では勘定科目等の見直しが行われました。また、近年の施設設備の高度化・財務活動の多様化に対応した活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。この計算書は、資金収支を「教育活動」・「施設整備等活動」・「その他の活動」に区分し、活動区分ごとの資金の流れを明らかにする計算書です。
- ②消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書となり、内容が大幅に変更されています。消費収支計算書では、収入・支出とも総額で把握していましたが、近年の臨時的・事業外の収支の増加を踏まえ、区分経理を導入し収支を経常的なものと臨時的なものに、さらに経常的な収支を教育活動と教育活動外に分けて把握することができるようになりました。また、近年の私学を取り巻く経営環境の変化に対応するため、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入前の収支差額も表示されるようになりました。
- ③貸借対照表では、固定資産の中科目として新たに「特定資産」が設けられ、さらに従来の「基本金の部」と「消費収支差額の部」を合わせて「純資産の部」とし、保有する資産の調達源泉（他人資本・自己資本）を明確にしています。

【学校法人会計の豆知識】

- ・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。
- (1) 資金収支計算書
 - ① 収入支出ごとに一覧表示になっており、予算管理に適した計算書です。
 - ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。
 - ③ 資金収支計算書を基に作成する「活動区分資金収支計算書」は、企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持ち、活動区分ごとの資金の流れを明らかにする計算書です。
- (2) 事業活動収支計算書
 - ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
 - ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。
- (3) 貸借対照表
 - ① 年度末における資産・負債・純資産を表します。
 - ② 財政状態の健全性、必要資産の保有状況、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。